

2023年度町田市指定管理者管理運営状況評価委員会
「2022年度指定管理者の管理運営状況評価結果等に対する委員意見」

1 山崎学童保育クラブの評価結果等に対する意見

(1) 神山委員

市民雇用率の数値の整合性について	<p>「6. 業務履行状況の確認」の「市民雇用」については、履行状況に「市民雇用率が72.7%」と記載されている。一方、「2022年度事業報告書」には、「町田市民雇用率は長期休暇職員を含め68%」と記載されており、資料によって数値が異なっている。</p> <p>評価表に記載する数値について、事業報告書等との整合を図り、十分に精査していただきたい。</p>
指定管理者による評価表の記載について	<p>「2. 選定時の提案内容」の達成状況に「外部スタッフ」とあるが、この「外部スタッフ」の位置づけが明確でない。市民の方に伝わる表現とするため、評価表の記載については、指定管理者に指導していただくとともに、所管課においても十分に確認し、文章を整えていただきたい。</p>

(2) 小林委員

業務履行状況の記載について	<p>「6. 業務履行状況の確認」の「地元への貢献」について、履行状況に「地元団体と連携した行事等を実施していた」と記載されている。</p> <p>一方、根拠資料である事業報告書には地域の業者や障がい者施設におやつ等を発注したこと等が記載されているが、どのような行事等を実施したのかは記載されていなかった。</p> <p>所管課によれば、地域のボランティアを招いておはなし会を実施したことをヒアリングで確認しているとのことである。</p> <p>履行状況には、確認した根拠も含めて適切な内容を記載していただきたい。</p>
---------------	---

(3) 加藤委員

財務状況の確認について	<p>団体の「事業活動計算書」及び「貸借対照表」について、前年度と比較して大きく増減している項目があったが、所管課では詳細を把握していなかった。</p> <p>継続して指定管理業務を実施できるか確認するため、指定管理者本体の財務状況を十分に確認していただきたい。</p>
-------------	---

(4) 前田委員長

適切な利用者アンケート調査の実施について	<p>「利用者アンケート調査チェックリスト」において、「毎年度、同時期に調査を行う計画になっていますか」という項目にチェックがついていない。</p> <p>所管課によれば、本施設においては、保育の計画にずれが生じたため、例年と同時期に調査を行えなかったとのことである。</p> <p>しかし、市の「アンケート調査の手引き」においては、調査結果の経年変化を把握するため、毎年度、同時期に調査を行うよう求めている。</p> <p>市の「アンケート調査の手引き」に沿って実施できるよう、指定管理者に対し適切に指導していただきたい。</p>
----------------------	--

(5) 神山委員、小林委員、前田委員長

評価委員会の資料について	<p>評価委員会の資料について、検証に必要な情報が含まれている。事務局を含め、どの程度まで資料とするか検討していただきたい。</p>
--------------	--

2 みわっこ学童保育クラブの評価結果等に対する意見

(1) 神山委員

利用者満足度の数値の整合性について	<p>利用者アンケート調査について、「5. サービスの質に関する評価」の指標2「利用者満足度（サービス・施設管理面）」には、97.1%と記載されているが、「2022年度事業報告書」には「サービス等」の満足度が95.2%と記載されている。</p> <p>評価表に記載する数値について、事業報告書等との整合を図り、十分に精査していただきたい。</p>
-------------------	---

<p>市民雇用率の数値の適正性について</p>	<p>「6. 業務履行状況の確認」の「市民雇用」については、履行状況に「市民雇用率が84.2%」と記載されている。一方、「2022年度事業報告書」には、「全職員20名中18名が町田市在住」と記載されており、市民雇用率が90%となっており、資料によって数値が異なっている。</p> <p>評価表に記載する数値について、事業報告書等との整合を図り、十分に精査していただきたい。</p>
<p>利用者アンケート調査票の設計について</p>	<p>本施設の利用者アンケート調査では、調査票に「該当しない」という回答の選択肢が設けられているが、山崎学童保育クラブの調査票にはなかった。</p> <p>しかし、「該当しない」という選択肢を設けるか否かで結果に差がつく恐れがある。</p> <p>また、本施設の調査票では、最後に自由記述欄を設けているが、山崎学童保育クラブでは、それぞれの設問に備考欄を用意していて、どの項目についてどういった理由で不満があるのか分かりやすい設計となっている。</p> <p>利用者の意見をサービス向上に生かすためには、設問ごとに何が満足又は不満だったかを把握することが重要である。</p> <p>利用者アンケート調査票の設計について、できる限り統一を図り、利用者の意見を明確に把握できる適切なアンケートになるよう指導していただきたい。</p>

(2) 小林委員

<p>指定管理者による評価表の記載について</p>	<p>指定管理者による評価表の記載について、意味が分かりづらい表現がある。市民の方に伝わる表現とするため、指定管理者に指導していただくとともに、所管課においても十分に確認し、文章を整えていただきたい。</p>
<p>業務履行状況の確認の根拠資料について</p>	<p>「6. 業務履行状況の確認」の履行状況に記載された確認書類について、根拠資料に記載された名称と異なる記載がある。</p> <p>どの書類で確認したのか共通認識を持てるようにするため、確認書類の名称について、根拠資料との整合を図り、正しく記載していただきたい。</p>

<p>現地調査確認シートの確認項目について</p>	<p>「現地調査確認シート」において、「管理運営経費の縮減」の確認項目に「エアコンの不使用、不要なコンセントの引き抜き等は実施されているか」と記載されている。</p> <p>しかし、近年の気候の状況を鑑みれば、経費縮減の取り組みとして「エアコンの不使用」は必ずしも適切な確認項目とは言えない。</p> <p>所管課によれば、「不要な」エアコン使用がないかを確認するものであり、エアコンを使ってはいけないということではないとのことである。</p> <p>現地で適切な調査が行えるようにするため、「現地調査確認シート」の確認項目の表現を見直していただきたい。</p>
---------------------------	---

(3) 加藤委員

<p>財務状況の確認について</p>	<p>「7. 財務・収支状況の確認」の「(2) 指定管理者本部」について、本部の経常利益率がマイナスとなっている。「事業活動計算書」によれば、サービス活動増減差額、経常増減差額ともにマイナスとなっていることによるものである。</p> <p>今後も継続して指定管理者として運営ができるかを確認するため、団体の経営改善策を把握し、市として適切に確認していただきたい。</p>
--------------------	---

(4) 前田委員長

<p>指定管理者による評価表の記載について</p>	<p>評価表の「2. 選定時の提案内容」の履行状況及び「4. 総合評価及び所見」の指定管理者所見については、指定管理者が記載しているとのことである。</p> <p>市民の方に伝わる表現とするため、意味が分かりづらい文章や体裁等について指導を行い、適切に評価表を作成していただきたい。</p>
---------------------------	---

(5) 神山委員、前田委員長

評価委員会の資料について	評価委員会の資料について、検証に必要な情報が含まれている。事務局も含め、どの程度まで資料とするか検討していただきたい。
--------------	---